

「生体分子を可視化する技術・操作する技術」

講師：佐藤 守俊 先生

東京大学大学院総合文化研究科准教授
京都大学化学研究所客員准教授

日時：6月21日（木）15:00～16:00
場所：本館北棟5階 N-531C 号室

光を使った可視化計測技術は、細胞内における生体分子の動態を理解する上で極めて強力なツールを提供します。私共は、タンパク質ドメインを分子認識素子として活用し、主として遺伝子工学的アプローチに基づいて、セカンドメッセンジャーと呼ばれる種々の生体小分子、およびタンパク質間の相互作用やタンパク質リン酸化などの生化学反応を可視化するための分子プローブを開発してきました。最近では、可視化計測を実現する分子プローブに加えて、細胞の中で生起するシグナル伝達等を自由自在に光で操るための新しい分子プローブの開発研究にも従事しております。本セミナーでは、このような生体分子のはたらきを探索するための分子プローブの開発研究に関して、私共の最近の成果を紹介し、今後の展開等について議論したいと思います。